

家計は毎年点検が必要

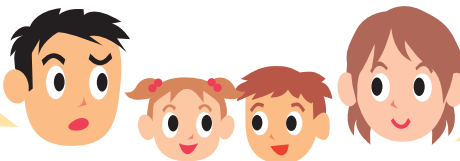
家計見直しで100万円貯めよう!

家計見直しのポイントは、まず現在の収入と支出を把握すること。そして、『ゆめ』のあるライフプランを目指しながら、安定した家計収支を導き出すことが大切です。今回は、100万円の目標金額を設定して、お金が貯まる家計へ見直しをしてみます。

【今回の見直し実践モデル】

●見井津さん家族 家族構成
夫 38歳(会社員)・・・毎月手取り 30万円
妻 35歳(専業主婦) 子ども2人

家計のことはよくわからないんだよな～



見直しには家族の協力が必要ヨ! 100万円を目標にがんばりましょう!

1 考えるよりも、まず月にいくら貯めるか決めよう!

表を参考にイメージを膨らませよう!

1ヶ月の積立額	100万円貯まるまでにかかる期間
10,000円	8年4ヶ月
20,000円	4年2ヶ月
30,000円	2年10ヶ月
40,000円	2年1ヶ月

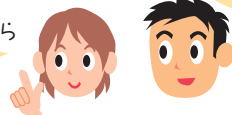
※預金利息は考慮していません。

ワンポイント

月収(手取り)の10～15%が貯蓄の目安なのじゃ!

そうだね。いままでほとんど貯蓄できてなかったからね。

うちの手取りなら3～4万円かしら

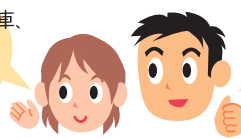


2 目的を明確にする。

家計収支は世代や家族構成によってそれぞれ違い、100万円貯める目的もいろいろあるはず。ぜひ家族で話し合ってみましょう!



私の軽自動車、買い替えたいわ。



家族全員で、海外旅行もいいかもね。



3 家計の現状を把握し、月に 円貯める家計をつくろう!

家計の支出には、大きく分けて「固定費」と「非固定費」があります。単純に考えると支出を減らすには「非固定費」のほうが、いろいろ工夫できますが、「固定費」も十分見直しの期待ができるのです!

例えば月収(手取り)30万円なら…

【A】月収(手取り)	<input type="text" value="300,000"/>	円
【B】貯蓄目標額	<input type="text" value="30,000"/>	円

■毎月の家計簿(現在)

じっくり見直し項目	項目		支出額	
	【C】 固定費	住居費(住宅ローン)	75,100	円
		光熱・水道費	18,000	円
		電話・通信費	6,000	円
		携帯電話料金	11,000	円
		新聞代	3,000	円
生命保険他		44,000	円	
	合計	157,100	円	

すぐに実践項目	項目		支出額	
	【D】 非固定費	食費(外食含む)	50,000	円
		日用品・衣料	15,000	円
		教育費ほか	30,000	円
		ガソリン代	7,900	円
		レジャー費	10,000	円
		夫小遣い	20,000	円
妻小遣い		10,000	円	
	合計	142,900	円	

【C】+【D】= 300,000円

ワンポイント

「収入」-「支出」=残れば「貯蓄」から「収入」-「貯蓄」=残りが「支出」の方程式に切り替えるべし!

$$【A】-【B】=【C+D】$$



家計に占める住宅ローンの割合は **平均 22.0%**
(総務省「家計年報調査」2008年30～39歳住宅ローン返済世帯の平均)

払込保険料(掛金)は、**年間平均 52.6万円**
(平成22年暮らしと金融なんでもデータ「金融資産と負債」より個人年金保険を含む) 調査対象: 全国(436地点)、世帯人員2人以上の一般世帯 4,088世帯

ワンポイント

「適正予算」を参考にするのも良し!

右表は「夫婦 + 小学校までの子ども2人」家計の目安です。



項目	支出割合
食費	15%
日用品・衣料	5%
教育費ほか	10%
レジャー費	3%
小遣い	10%

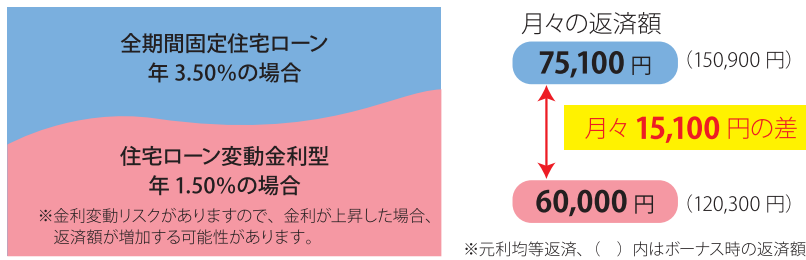
(家計診断シートに記載された支出額は、「平成22年暮らしと金融なんでもデータ」掲載の「家計の収支」と「金融資産と負債」項目を基に、ミーツ編集室が独自に作成したイメージです。)

じっくり見直し項目

1 住宅ローン借換で家計見直し!

ローンの金利に差があれば、借換によって毎月の返済額・総返済額の軽減など、メリットを得られる可能性があります。

【例えば、借入金額2,000万円(内ボーナス返済分500万円)返済期間25年で利用中の場合】



ワンポイント

次のような方は
「ろうきん」に
相談すべし!!



- ①お借入中のローンと「ろうきん」住宅ローンの金利差が1.5%以上ある方
 - ②残りの返済期間が10年以上ある方
 - ③ローンの残高が1,000万円以上ある方
 - ④当初固定金利特約期間が終了される方
- ※借換の目安として、一般的な条件です。

2 保障見直しで家計見直し!

必要保障額は、今後のライフイベントによって推移するものですが、当初あまり考えずに契約し、そのままの状態では「かけすぎ」になっていることも少なくありません。ぜひ、以下の方程式を踏まえ、専門家に相談してみましょう!

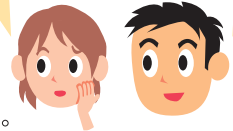
家族に必要なお金 (生活費・教育費など) - 入ってくるお金 (遺族基礎年金などの公的保障、死亡退職金などの企業補償) = 必要保障額 (死亡保障の目安)

◆例えば、見井津さん家族の死亡保障額の目安は?【専業主婦家庭(持ち家):子ども2人】

夫...3,000~4,000万円 妻...500~1,000万円 ※全労済より
⇒医療保障についても、加入状況を確認することをオススメします。

わたし、遺族基礎年金なんか初めて聞いたわ。

子どもの成長を含めて、じっくり考えて、そして家計見直しができるだけ最高だね。



3 太陽光発電で家計見直し!(予算200万円~250万円)

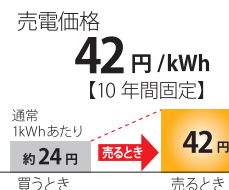
ローンで設置しても、将来的にもとがとれるのかしら?

でも決して安い買い物じゃないから、じっくり考えよう!

メリット1 電気代が節約できる
⇒発電された電気を家庭で使えます。

一般的な家庭での年間消費電力量は、約5,500kWh。これは3.81kWシステムの設置で約7割をまかなうことが可能です。
※(財)省エネルギーセンター「総合エネルギー統計平成15年版(平成12年国勢調査ベース)」

メリット2 余った電気は売れる



メリット3 充実の補助金制度

国の補助金
192,000円*

※48,000円/太陽電池最大出力1kW×4.0kWの場合(住宅用10kW未満)

自治体からの補助金が交付されるケースもあります。

すぐに実践項目

エコ節電で家計見直し! ※経済産業省HPより

冷蔵庫 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにする。
⇒削減率 2% ⇒削減消費電力 25W

照明 日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らす。
⇒削減率 5% ⇒削減消費電力 60W

テレビ 省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。
⇒削減率 2% ⇒削減消費電力 25W

ジャー炊飯器 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存する。
⇒削減率 2% ⇒削減消費電力 25W

節電の方法は雑誌やインターネットなどでも、たくさん紹介されています。ぜひチャレンジしましょう!

※節約となる金額はミーツ編集室が独自に通常の売買価格から計算した目安の額です。

エコドライブでガソリン代節約! 例えば、ふんわりアクセル・アイドリングストップ・重い荷物を載せればなしにしない。など

4 最後に100万円貯めることを宣言しましょう!

私は、1ヶ月に 円積立して、 年 ヶ月で100万円を貯めます!

そして、100万円貯まったら、 をします(買います)!

まとめ

- ツライ節約はストレスになって失敗の原因のもと。自分にあった家計見直しを実践してください。
- 楽しんで貯蓄していくために、「30万円貯まったら、〇〇〇します。」(例えば、家族で焼肉を食べに行く)などを書きだして、途中の「ごほうび」を決めておくのも効果的!
- 節約を継続していくと「目的」になりがち。節約は、何かの目標を達成させる「手段」であることを忘れないように。